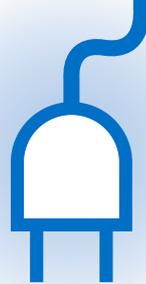


みんなで実践！ 簡単節電術

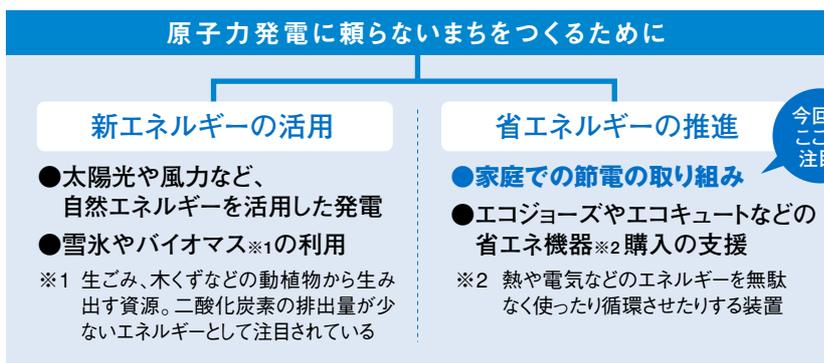


私たちの暮らしを支えている電気。その大切さが、今見直されています。
そこで今回は、家庭での節電の必要性を考えるとともに、簡単に取り組める節電術を紹介します。

【詳細】環境計画課 ☎211-2877

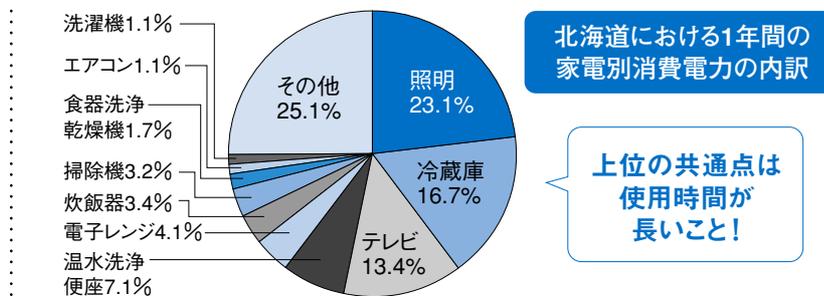
Q なぜ今、節電を考えるの？

異常気象をもたらしている地球温暖化や、3月に発生した福島第一原子力発電所の事故を受け、エネルギーの在り方が見直されています。札幌市は、市民が安心して暮らすことができるよう、原子力発電に頼らないまちを目指します。その実現のためには、環境に優しい新たなエネルギーの活用と同時に、「節電」をはじめとする省エネルギーの取り組みを進めることが必要になります。



Q 節電といっても、電化製品はたくさんあるし、何から手を付けて良いのか…

消費電力量は、その家電の「電力(W) × 使用時間」で決まります。消費電力の多い家電といえば、道外ではエアコンが1位ですが、北海道は「照明」「冷蔵庫」「テレビ」が上位。電子レンジや掃除機などは、一度に消費する電力は大きいものの、使う時間が短いため消費電力の総量はそれほどありません。



まずはここから!

「照明」「冷蔵庫」「テレビ」など、
使用時間の長い家電の使い方を工夫しよう!

冬の節電に挑戦するモニターを募集

電力の消費量や料金を“見える化”できる「ワットチェッカー」を使って、12月からの3か月間の電力消費量を計測。前年比マイナス15%を達成した世帯に共通ウイズカード(500円分)を差し上げます。※ワットチェッカーは貸し出します。

定員500世帯

申込11/1(火)から市コールセンター

☎222-4894へ。先着

現在取り組み中! 夏の節電モニターさんに聞きました

モニターになってから、小まめにデータをとって節電に取り組んでいます。その結果、昨年と比べて8月の電気代を13%安くすることに成功! タオルで念入りに髪を拭いてからドライヤーを使ったり、床の物を整理してから掃除機をかけたりするなど、ちょっとしたことの積み重ねが節電につながると実感しています。家族で節電について話すきっかけにもなり、楽しみながら取り組めるので皆さんもチャレンジしてみてください!

前年比マイナス15%の節電を目指す しみずともこ 清水朋子さん





省エネや節電の
コツを熟知した
「節電の達人」が

おすすめの
節電術を
伝授します

みやもりよしこ
宮森芳子さん
省エネ普及指導員として、市内を中心
に節電などに関する講義を行っている。

節電効果



冷蔵庫

庫内の温度を適切に保とう

冷蔵室は1～5度、野菜室の温度は3～7度が適温。購入時は冷蔵強度が「強」の設定になっていることがあるので、庫内の温度を測り、冷え過ぎていれば設定し直しましょう。

冷蔵強度を「強」から「中」にすると
年間約1,360円分の節電!

※周囲の温度が22℃の場合

節電効果



テレビ

一番使われる部屋の照明を 蛍光灯やLED照明に替えよう

白熱電球は、電球型蛍光灯の約4倍、LED照明の約7倍もの電力を消費するので、早めに切り替えを! LED照明は消費電力量は少ないですが高価なので、使用時間の長い部屋の照明から徐々に切り替えるのがおすすめです。

白熱電球からLED照明に切り替えると
1個あたり 年間約2,020円分の節電!

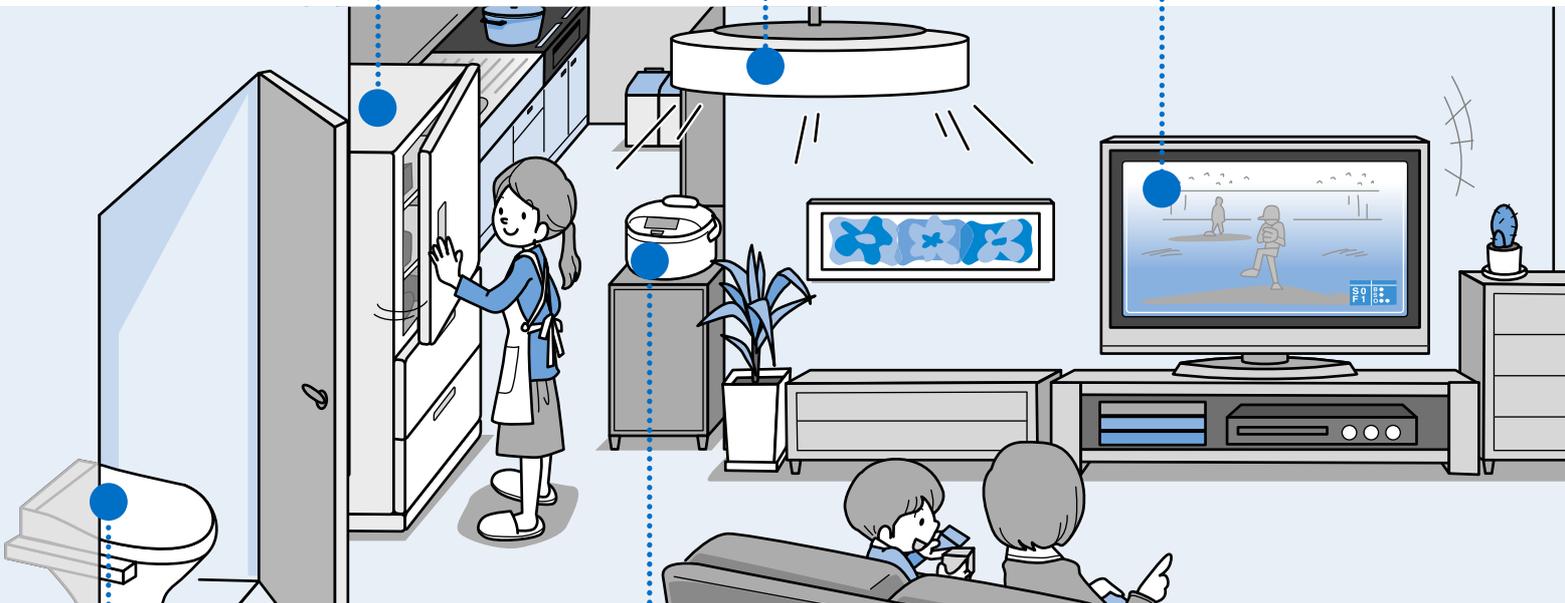
※年間2,000時間使用する場合

見ない時には必ず消そう

少しでもテレビの前を離れる時は、電源を切る習慣をつけましょう。また、画面の明るさを控えることも節電になります。目に負担のない範囲で設定を変えると良いですよ。

1日1時間、テレビを見る時間を減らすと
年間約330円分の節電!

※20インチの液晶テレビの場合



節電効果



温水
便座

使わないときは必ずふたを閉めよう

トイレのふたを開けっ放しにすると、便座の温度を保つために無駄な電力を消費します。ふたは必ず閉める癖をつけましょう。

使わないときにふたを閉めておくと
年間約770円分の節電!

※ふたを閉めた場合と、開けっ放しの場合との比較(貯湯式)

節電効果



炊飯器

保温は4時間までにしよう

4時間以上保温するのであれば、電子レンジで温め直したほうが節電になります。ご飯をまとめて炊き、保温せず冷蔵や冷凍しておくのも節電に効果的です。

保温をやめて電子レンジで再加熱すると
年間約1,130円分の節電!

※1日12時間の保温をやめた場合

一人一人の心掛けが大きな力に

私たちは、電気をはじめ、ガス、灯油などのエネルギーを使わずには生活できません。だからこそ、私たち一人一人が、省エネルギーの意識を持ち、行動することが大切です。小さな取り組みの積み重ねによって、札幌はより環境に優しく、安心して暮らせるまちになっていきます。今回紹介した節電術をきっかけに、皆さんもできることから取り組んでみませんか。

環境プラザで

[相談時間] 月・水・土曜の午後1時～5時
※ただし、10/10(祝)、15(土)は休館

節電のアドバイスが受けられます

今回載せきれなかった家庭での節電術のほか、環境問題やエネルギーについて幅広い知識を持つ相談員が、皆さんの疑問を解決します。

相談先

環境プラザ(北区北8西3エルプラザ内)
☎728-1667 FAX 728-1400
Eメール 10@kankyo.sl-plaza.jp